

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画書 ★	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量的指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗 必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性
247	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		地域医療対策事業	医療機関相互の連携強化、役割分担の明確化により、実情に即した救急体制と保健・福祉と連携した医療体制を確立していく。	市民に医療機関の正しい受診方法等、パンフレット・啓発用品などを用いて周知する。	9月7日自殺予防週間・救急の日に合わせて市内5か所で適正医療・救急車の正しい使い方についての啓発キャンペーンを行った。1500人に配付	72	啓発物配付人数	人	1,500	1,500	A	A	A	A	A	年に1度ではあるが救急の日に合わせて他組織と連携して適正受診を啓発出来る事業です。	継続
248	健康福祉部	健康増進課	04	01	02	★	初期救急医療体制整備事業	・救急医療体制を整備して、市民が安心して生活できるようにする。	・開業医が輪番制で休日・祝日の昼間診療をし、救急体制を確保する。	・市内25医療機関の輪番制により、休日祝日年間71日の救急医療業務を行った。 ・患者数は、4, 208人だった。	4636	利用者のうち緊急性が低い人の割合	%	26	28	A	A	A	A	A	湖西市医会は輪番制で救急医療業務を実施しているが、市民は助けられていない。しかし、受診者が救急でなくても受診しているため、コンビニ受診をしないように啓発が必要となる。	継続
249	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		救急医療体制強化促進事業	救急医療の体制が整備されない夜間救急の対応部分について実施している医療機関に財政支援を行い、夜間救急医療の場を確保する。	浜名病院に対する休日夜間救急医療事業補助を行う。	救急医療体制として夜間365日と休日昼間71日。	15521	休日夜間救急医療実施日 (年間夜間救急)浜名病院 H23. 7月から開始	日	365日	365日	A	A	A	A	A	救急医療の必要性がある中、民間病院である浜名病院が請負って救急医療を実施している。	継続
308	総務部	財政課	04	04	01		湖西市立病院事業繰出金	病院事業が健全な運営をできるよう繰出しを行う。	病院事業会計等に対し、負担金などを繰出する。	病院事業に要する経費等について、地方公営企業法の規定による負担及び営業助成などを湖西病院に支出した(812,537.00円)。	812,537	繰出額	千円	833,000	812,537	B	B	A	B	A	地方公営企業法の全部適用となり、独立採算を基本に運営すべきであるが、繰出基準に基づいた繰出金を支出する。営業助成については、将来的には0円とする。	改善(一部廃止)

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画書 ★	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量的指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗 必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性
247	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		地域医療対策事業	医療機関相互の連携強化、役割分担の明確化により、実情に即した救急体制と保健・福祉と連携した医療体制を確立していく。	市民に医療機関の正しい受診方法等、パンフレット・啓発用品などを用いて周知する。	9月7日自殺予防週間・救急の日に合わせて市内5か所で適正医療・救急車の正しい使い方についての啓発キャンペーンを行った。1500人に配付	72	啓発物配付人数	人	1,500	1,500	A	A	A	A	A	年に1度ではあるが救急の日に合わせて他組織と連携して適正受診を啓発出来る事業です。	継続
248	健康福祉部	健康増進課	04	01	02	★	初期救急医療体制整備事業	・救急医療体制を整備して、市民が安心して生活できるようにする。	・開業医が輪番制で休日・祝日の昼間診療をし、救急体制を確保する。	・市内25医療機関の輪番制により、休日祝日年間71日の救急医療業務を行った。 ・患者数は、4, 208人だった。	4636	利用者のうち緊急性が低い人の割合	%	26	28	A	A	A	A	A	湖西市医会は輪番制で救急医療業務を実施しているが市民は助けられていない。しかし、受診者が救急でなくても受診しているため、コンビニ受診をしないように啓発が必要となる。	継続
249	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		救急医療体制強化促進事業	救急医療の体制が整備されない夜間救急の対応部分について実施している医療機関に財政支援を行い、夜間救急医療の場を確保する。	浜名病院に対する休日夜間救急医療事業補助を行う。	救急医療体制として夜間365日と休日昼間71日。	15521	休日夜間救急医療実施日 (年間夜間救急)浜名病院 H23. 7月から開始	日	365日	365日	A	A	A	A	A	救急医療の必要性がある中、民間病院である浜名病院が請負って救急医療を実施している。	継続
308	総務部	財政課	04	04	01		湖西市立病院事業繰出金	病院事業が健全な運営をできるよう繰出しを行う。	病院事業会計等に対し、負担金などを繰出する。	病院事業に要する経費等について、地方公営企業法の規定による負担及び営業助成などを湖西病院に支出した(812,537.00円)。	812,537	繰出額	千円	833,000	812,537	B	B	A	B	A	地方公営企業法の全部適用となり、独立採算を基本に運営すべきであるが、繰出基準に基づいた繰出金を支出する。営業助成については、将来的には0円とする。	改善(一部廃止)

事務事業評価（25年度 実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H25 事業概要	H25 事業実績	H25決算 見込額	活動指標名 (業務量的指標)	単位	H25 目標	H25 実績	事業の進捗 必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性
247	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		地域医療対策事業	医療機関相互の連携強化、役割分担の明確化により、実情に即した救急体制と保健・福祉と連携した医療体制を確立していく。	市民に医療機関の正しい受診方法等、パンフレット・啓発用品などを用いて周知する。	9月7日自殺予防週間・救急の日に合わせて市内5か所で適正医療・救急車の正しい使い方についての啓発キャンペーンを行った。1500人に配付	72	啓発物配付人数	人	1,500	1,500	A	A	A	A	A	年に1度ではあるが救急の日に合わせて他組織と連携して適正受診を啓発出来る事業です。	継続
248	健康福祉部	健康増進課	04	01	02	★	初期救急医療体制整備事業	・救急医療体制を整備して、市民が安心して生活できるようにする。	・開業医が輪番制で休日・祝日の昼間診療をし、救急体制を確保する。	・市内25医療機関の輪番制により、休日祝日年間71日の救急医療業務を行った。 ・患者数は、4, 208人だった。	4636	利用者のうち緊急性が低い人の割合	%	26	28	A	A	A	A	A	湖西市医会は輪番制で救急医療業務を実施しているが、市民は助けられていない。しかし、受診者が救急でなくても受診しているため、コンビニ受診をしないように啓発が必要となる。	継続
249	健康福祉部	健康増進課	04	01	02		救急医療体制強化促進事業	救急医療の体制が整備されない夜間救急の対応部分について実施している医療機関に財政支援を行い、夜間救急医療の場を確保する。	浜名病院に対する休日夜間救急医療事業補助を行う。	救急医療体制として夜間365日と休日昼間71日。	15521	休日夜間救急医療実施日 (年間夜間救急)浜名病院 H23. 7月から開始	日	365日	365日	A	A	A	A	A	救急医療の必要性がある中、民間病院である浜名病院が請負って救急医療を実施している。	継続
308	総務部	財政課	04	04	01		湖西市立病院事業繰出金	病院事業が健全な運営をできるよう繰出しを行う。	病院事業会計等に対し、負担金などを繰出する。	病院事業に要する経費等について、地方公営企業法の規定による負担及び営業助成などを湖西病院に支出した(812,537.00円)。	812,537	繰出額	千円	833,000	812,537	B	B	A	B	A	地方公営企業法の全部適用となり、独立採算を基本に運営すべきであるが、繰出基準に基づいた繰出金を支出する。営業助成については、将来的には0円とする。	改善(一部廃止)